

1 派遣期日 令和5年11月10日（金）

2 派遣先 学校名（会場名） 宮崎市立広瀬中学校  
所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下田島20305-12

3 研究内容（以下、（1）～（6）は紀要より引用

（1）大会主題「未来へ力強く向かう力を育むキャリア教育」  
研究主題「地域や仲間とのつながりを深め、未来を創る生徒の育成」  
～地域素材を生かした課題解決的学習を通して～

（2）主題設定理由

令和2年度より教育方針の一つとして、他者と切磋琢磨しながら向上し合う教育活動を積極的に取り入れるようにした。この方針のもと、「つながり」をテーマにしたキャリア教育の再構築にむけて研究を進めることにした。改善の一つとして、生徒がもつ資質・能力のうち【かかわる力】・【かいけつする力】・【みつめる力】・【えがく力】を重点的に育成することにした。この4つの力をもとにキャリア教育における各学年の目指す生徒の姿を明確にし、特別活動を核にあらゆる教育活動を通して育成することを目指した。加えて、委員会活動・職場体験学習・総合的な学習の時間をより探求的な取組に改善し、生徒が多様な経験をとおして4つの力を高めることができるようにした。また、総合的な学習の時間は、小学校とも連携して「仕事」を軸に「つながり」を意識した小中9年間系統性のある指導計画にした。

研究4年目となる本年度は、研究主題を上記のように設定し、地元を盛り上げている社会人から「仕事」を軸とした生きるヒントや地域の課題を得るとともに、協働的な学びを通して自分の生き方と真剣に向き合う育む研究を進めることにした。

（3）研究のねらい

激動する予測困難な時代の中でも、地域のよりよい未来を見つめ、他者と協働しながら創造していく力と態度を育む。

（4）研究の仮説

- ・総合的な学習の時間の中で、自分や周囲にある課題を主体的に解決する機会や自分の生き方を具体的に考える機会を意図的に設定する。また、各教科・道徳科の授業の中で、互いの意見を傾聴し合い、その良さや違いを認め合う機会を設定したり、ペアやグループで協力して考えを深めたりする活動を取り入れる。これにより、特に「かかわる力」「かいけつする力」が育まれるだろう。
- ・地域の事業所や社会人を交えた課題解決的学習に取り組むことで、「仕事」を軸にした生きるヒントや地域の課題を知ることができる。そして、自分や地域の未来について考えたり、解決策を協働的に考えたりすることを通して、特に【えがく力】・【みつめる力】が育まれるだろう。

（5）研究の内容

- ① 協働的に探究できる仕組みづくり、発表等の場の設定
- ② 地域と学校の連携の在り方の工夫、【かかわる力】・【かいけつする力】・【みつめる力】・【えがく力】の育成を意識した総合的な学習の時間の計画作成と実践

## (6) 実践内容

### ① 全学年「エナジードコア」の導入

探究活動に入る前に、各学年のスキル学習として、エナジードコアというタブレット教材を使って身の回りの問題に気づく力・気づいた問題を解決するためのアイデアを発案する力・発案したアイデアを実現する力を高める練習を行った。

### ② 第1学年「探究的な活動」について

本活動は、生徒会の各種委員会の係活動を「仕事」として捉え、よりよい集団生活にするにはどうすればよいか、企画アイデアを出し、それをPDCAサイクルで実行する学習活動である。探究活動は、まず生徒が学級課題（インサイト・潜在ニーズ）に着目し、その課題を解決するためのアイデア（仕掛け）の工夫について意見を出し合った。また、そのアイデアを実行し、物を作ったり、活動したりすることを通して、学級の課題解決を図る活動を行った。自分たちの身近に存在する問題を見つけ出し、それを自分たちでアイデアを出して解決していく力を身に付けることが、第2学年「地域セミナー」へつながると考える。

### ③ 第2学年「地域セミナー」について

第2学年では、職場体験に代わり、「地域セミナー」を行った。広瀬小学校区地域づくり協議会にご協力いただき、12か所の事業所との連携により、地域とのつながりができた。また、初回は、午前は職場体験、午後は仕事とは何かを考える「ゆめ集会」を実施した。その後、各事業所9名の3名3グループを作り、事業所からいただいた課題を元に、その課題を解決するための企画アイデアを立てた。2月下旬には、事業所の方の前で企画アイデアを、タブレットで発表している。

### ④ 第3学年「地域プロジェクト」について

2学年に取り組んだ「地域セミナー」での学習を進化・発展させ、宮崎市の課題をもとに探究的な学習を行うのが「地域プロジェクト」である。本学年は昨年度末、宮崎市企画財政部企画政策課の方に講話をしていただき、市の抱える様々な課題を知ることができた。その課題解決のきっかけの1つとして7月に「宮崎移住者の話を聞く会」を実施した。多角的な視野から宮崎について話を聞くことができた。特に「宮崎の魅力」に関する話については、宮崎の魅力を広めるためのアイデアを考える活動につなげることができた。この活動では、自分で考えてきた企画アイデアを、各テーマで発表し合い、代表者が学年全員の前で発表した。

自分の課題テーマを見つける過程で、様々な大人の話聞く機会がある。その中で自分の将来を考えるきっかけがあり、刺激を受けた生徒も多い。

## 4 感想

今回の研修では、地域や企業等と学校が連携をしながら、キャリア教育を深めていくための実践方法を研修することができた。また、小学校の先生とキャリア計画を立てて行くことの大切さや校内においても学習内容の進度を各学年で協議しながら進めていく重要性にも改めて気づくことができた。

今回の2・3年生の公開授業では、自分たちで考えてきたアイデアを、ゲストアドバイザーの方にプレゼンする授業内容であった。まとめの時間は、ゲストアドバイザーに講評をいただき、活動を通して学んだことやこれからの進路や生き方とどうつなげていくかをまとめていた。

生徒が企画したアイデアを発表し、講評だけにとどめず、生徒の企画アイデアを実際に取り上げる事業所や自治体も多くあると伺った。この取り組みは、生徒たちにも「地域を変えられる」という自信と実感が沸き、地元や将来について深く考えられる機会につながるのではないかと強く感じた。さらに、授業実践を通して、本時の課題へ迫っていく各学年のワークシートの工夫や教師のしかけが大変勉強になった。今回学んだことを、今後のキャリア教育の実践に生かしていきたい。